

先輩からアドバイス

豊橋創造大「キャリア教育授業」

豊橋創造大学(後藤圭司学長)が9日、各分野で活躍する卒業生らを講師に招いて、学生たちの目標や職業観などを養う「キャリア教育授業」を始めた。

今回は2001(平成13)年に同大を卒業して、現在は電子プリンターなどを取り扱う会社で働く島田文昭さんが「働くってどういうこと??31歳のリアル」と題して講演した。島田さんは、コーヒ―製造会社へ入社して3カ月後に体調を崩して3カ月入院。「仕事

への焦りもあり、昇格も同期に比べて遅くなるとマイナス志向で悩んだが、大きな間違いだった。悩みはプラス志向で悩めばいい」などとアドバイスした。また就業で学んだ仕事に対する取り組み方として「悩んでも落ち込まないこと。悩むこ

とは良いことだとプラス志向で考える」「何事に対しても最後まであきらめめずにこだわり、見切らない事」などを挙げた。

最後に島田さんは「学生時代は友達を1人でも多く作って、とにかく好きなことを楽しむこと。好きな言葉や励まされる言葉を集めよう」などとエールを贈った。

(天野武宏)



豊橋創造大の島田文昭さんにエールを贈る